

第3回いわき市中小企業振興懇談会 議事録

1 会議概要

(1) 開催日時 平成27年11月5日(木) 10:00~11:00

(2) 開催場所 いわき市役所 第3会議室

(3) 出席者

いわき市中小企業振興懇談会委員(12名)

事務局(6名)

(4) 次第

① 開会

② 協議事項

(仮称)いわき市中小企業・小規模企業振興条例(素案)の修正案について

③ その他

④ 閉会

2 協議事項

事務局より「(仮称)いわき市中小企業・小規模企業振興条例(素案)」の修正案について別紙資料に基づき、説明。

3 意見交換

A委員

条文がわかりやすくなった印象があります。前回の案から「廃業支援」という表現を削除しましたが、「新陳代謝」は残っています。読んでみるとちょっと違和感があります。「産業活動の新陳代謝」の部分を例えば、「産業活動の活性化」のような表現のほうが、抵抗が少ないような気がします。どうでしょうか。

B委員

「活性化」だと少し弱いと思いますが、新陳代謝だと表現がきつい。新陳代謝という表現を使っている自治体はあるのでしょうか。

事務局

他の条例ではありません。国の法律等で使用されている表現ではありません。

A委員

それでは、このような表現はどうでしょうか。「社会経済情勢の変化に対応し、中小企業・小規模企業の経営革新及び地域産業の活性化を促進するため、…」というのはどうでしょうか。

商工会でも「経営革新」という言葉は使っていますよね。

C委員

商工会でも使っています。いまの表現のほうがやわらかいですね。

事務局

新陳代謝という言葉よりも、条文にある「創業、第二創業、事業転換…」が重要なので、その部分を分かりやすくするための表現であれば良いので、懇談会の皆様の意見を踏まえて、まとめていきたいと考えております。

D委員

廃業支援を事業転換に変えたという意味合いからすれば、会長の案が良いのではないのでしょうか。新陳代謝だとプラスとマイナスの両方のイメージがあるので、経営革新と地域産業の活性化とプラスのイメージで統一したほうが良いと思います。

B委員

第7条の「大企業の役割」ですが、「提供されるサービスの利用に協力する…」でなく、「提供されるサービスの利用に努めるものとする」ではダイレクトすぎますか。

A委員

「協力」はいらないですか。

E委員

技術革新というのは、大企業の役割には入らないですか。技術革新とか新技術の開発などは、どこが担うべきものなのでしょうか。大企業なのか、中小企業なのでしょうか。

事務局

市の施策の基本方針の中で、具体的に触れていますが、「大企業の役割」の中では「中小企業・小規模企業との連携を図り、その育成及び支援に…」という部分に含まれております。

A委員

技術開発だけで一つのテーマであってもいいのかなと思います。

たとえば、第14条の「事業活動の拡大」の中に、1つ項目を追加してもいいぐらいです。

F委員

技術開発の部分ですが、市の施策として伝統技能の継承なども取り入れてほしいです。

A委員

それは、前文あたりで表現できればいいと思いますが、事務局で検討をお願いします。

G委員

新陳代謝の部分は違和感がありましたが、会長の表現であれば問題ないと思います。

D委員

基本理念の部分で「推進されなければならない」という表現は強い表現ですが、他の条例もこのような表現なのでしょうか。

事務局

他市の条例もこのような表現が多くなっていることから、変更しました。

H委員

市の意気込みが強く感じられ、内容もわかりやすくなっていて、非常に良いと思います。

B委員

内容が前回会議よりブラッシュアップされていて、良いと思います。ただ、大企業の役割の部分は、中小企業との取引が拡大するような表現をもう一工夫していただけないかなと思います。

I委員

条例として、非常によくまとまっているなと思います。

J委員

基本理念の中に、「国及び県との連携」を入れていただいたし、内容もわかりやすくなったと思います。

K委員

教育機関の役割の部分も修正いただき、内容も良くなったと思います。

L委員

条例制定後の実施計画が重要だと思いますので、そこはしっかりしたものにしてほしいと思います。条例案としては、このような内容で良いと思います。

E委員

条例はとても読みやすく、良いと思います。